

( 様式1 )

整理番号

平成22年度 ノーステック財団「研究開発助成事業」  
若手研究人材・ネットワーク育成補助金 (Talent補助金)

申 込 書

【 応 募 区 分 】

事 業 名	補 助 金 名	研 究 領 域*
若手研究人材育成事業	Talent補助金	

【 研究開発テーマ 】

研究開発テーマ名	(30字程度)
研究キーワード	
研究開発の概要 (150字以内・ <u>字数厳守</u> )	
研究開発テーマの詳細をコンパクトに取りまとめ、150字以内で表現してください。	

【 研究者の連絡先 】

(フリガナ) 氏 名	年 齢	所 属 機 関 名 / 役 職 名
印	歳	
連 絡 先	(勤・自) 電話番号 ( )	FAX番号 ( )
	E-mail :	

【 他の助成制度での実施 (現在申請中のものを含む) の有無 】

※共同研究者として参画している場合も含む (複数回答可)

<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有		
<input type="checkbox"/> 実施中	<input type="checkbox"/> 申請中		
助成機関名		助成制度名	
研究テーマ名			
助成期間	平成 年 月~平成 年 月	助成金額	
<input type="checkbox"/> 実施中	<input type="checkbox"/> 申請中		
助成機関名		助成制度名	
研究テーマ名			
助成期間	平成 年 月~平成 年 月	助成金額	

( 様式2 )

**【 研究開発テーマの詳細 】**

研究開発テーマの背景及び目的

研究開発の必要性、波及性などにも触れて記載してください。

関連する研究分野の動向

提案者自身が把握している関連の研究分野の動向と、その中での本研究開発テーマの位置づけに触れて記載してください。

研究開発テーマの内容及び方法

独創性、革新性などにも触れ、具体的に記載してください。

研究開発成果の今後の展開

研究成果が将来どのように活用される可能性があるか、また、今後想定される共同研究などを含めて記載してください。また、北海道の地域振興や地域産業の発展にどのように貢献するかにも触れて記載してください。

※様式2全体で、2枚以内で記載してください。

( 様式3 )

【 研究者の詳細 】

(フリガナ) 氏 名		性別	所属機関名 / 役職名	
		男・女		
自宅住所			自宅電話番号	
〒			( )	
所属住所			所属電話番号	
〒			( )	
生 年 月 日		19 年 月 日 ( 歳 )		
略 歴	19 年 月	(最終学歴)		
	19 年 月			
	19 年 月			
	19 年 月	現在に至る		
所属学会 (役職名)				
主たる研究・技術開発分野				
研究・技術開発キーワード				
<p>過去の研究・技術開発実績 (著書、研究論文、特許等)</p> <p>代表的な著書及び研究論文について、題名、発表誌、出版社名等を記載してください。特許等については、名称及び出願番号を記載してください。著者名が多数にわたる場合、数名を記載し以下を省略して下さい。その他、これまで行ってきた研究・技術開発に関して適当な著書、研究論文、特許について該当がない場合は、その内容を記載してください。</p>				
<p>過去の助成実績</p> <p>過去3年間に於いて省庁・自治体・その他助成機関等から補助金の交付を受けた研究について、交付年度、課題名、成果概要、省庁・自治体・機関名、制度名、補助金額を年代の新しい順に記載してください。</p>				

( 様式4 )

【 研究開発費の内訳 】

( 単位 : 千円 )

経費区分	研究開発費 (補助申請額のみ)	積算内訳 (単価・数量・使用目的等)
機器購入費		
原材料・ 消耗品購入費	記載例: 200	記載例: ・●●実験用消耗品:計100千円 ..チューブ ; 2千円/個 x10個 ..容器 ; 20千円/箱 x4箱 ・○○実験用試薬:計100千円 ▲▲溶媒 ; 2千円/個 x10個 △△試薬 ; 20千円/箱 x4箱
旅費	記載例: 150	記載例: ・学会発表のための出張旅費(関東地域); 75千円/回 x2回 使用目的: 関連学会・研究会等出席による情報収集および成果発表
その他経費	記載例: 50	記載例: ・論文投稿費用 50千円(投稿費用、英文校正、別刷り)
合計	記載例: 400	

( 様式5 )

【そ の 他】

フリー・シートです。当該研究開発の重要性等について、指定様式で表現しきれなかった事項をご自由に記載してください(ただし、1~2枚程度とします)。

e.g.

- ◆ 研究内容を図示するなどして理解の助けとする。
- ◆ 現在までの自己又は他の研究者の類似研究とその相異を明らかにし、今回応募した研究開発の独創性、独自性を明らかにする。
- ◆ 指定様式では欄が狭くて書ききれなかったものを追加で記載する。etc